

先生各位

LOX-index®検査報告書改訂のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、「LOX-index®検査」につきまして、測定委託先より報告書をリニューアルする旨の連絡がございましたので以下の通り、ご案内申し上げます。

尚、基準値や判定方法には変更はございません。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日 2023年 4月 1日（土）測定委託先発行分より

主な変更点：

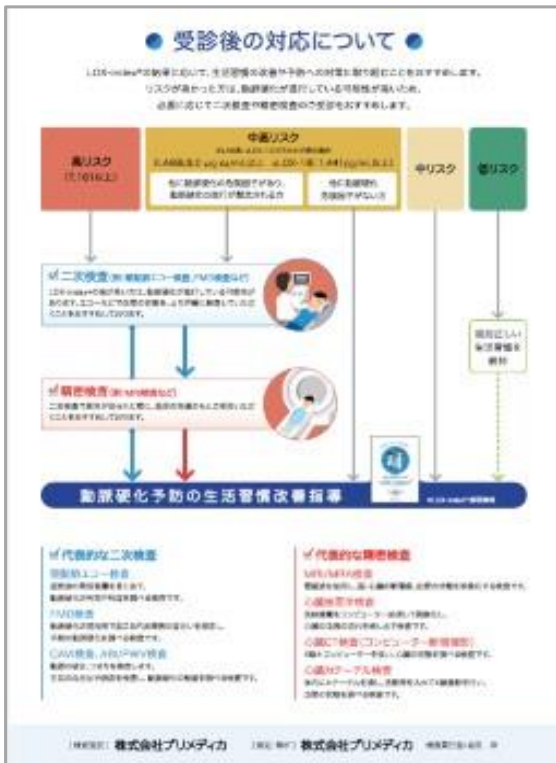
- ① リスク分類の表記変更
 - LOX-indexの結果値、リスク分類の表記位置を変更
 - リスク分類を「高/中高/中/低」の表記から「高リスク群/中高リスク群/中リスク群/低リスク群」の表記へ変更
 - 併せて、裏面の検査後フローチャートも同表記に変更
- ② 測定項目に対するコメントパターン変更
 - LOX-index、LAB、sLOX-1に関する個別コメントの表現を変更
- ③ 検査に関する説明文章の追加
 - リスク分類に関しての統計的根拠を追記
 - 中面・裏面に但し書きを一部追記
- ④ 検歴表示の仕様変更
 - 1回目、2回目、3回目以上の受検回数を問わず、表記されていた結果枠を検査回数に合わせて表記する方式に変更
 - ・ 初めて受検された方 : 今回の1回分の枠を表記
 - ・ 2回受検された方 : 今回、前回の2回分の枠を表記
 - ・ 3回以上受検された方 : 今回、前回、前々回の3回分の枠を表記

※基準値や判定方法に関する変更はございません。

報告書イメージは別紙をご参照ください。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。

別紙1: 報告書イメージ(表紙/裏面) 左: 現行版/右: 新版



別紙2: 報告書イメージ(中面) 左: 現行版/右: 新版

LOX-index[®] 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査報告書

氏名 サンプル タロウ 様 性別 男性 年齢 47歳

検査日 2021/4/1 カルテID 123456789

総合評価

脳梗塞・心筋梗塞発症
リスクは **低** です。

LOX-index[®]
今日の測定結果 **736**

検査日	検査値	LOX-index [®]
検査日	2021/1/1	728
検査日	2021/1/15	855
検査日	2021/1/31	908

今日のLOX-index検査の結果では、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクは低リスクと判定されました。LOX-indexの値が低く、脳梗塞のリスクが低い傾向にあると判定されます。しかし、脳梗塞や心筋梗塞は、自覚症状がほとんどないまま進行し、発症に至ります。脳梗塞・心筋梗塞は生活習慣の改善が不可欠なことが多く、発症の危険性が高いです。自覚から10年以上前から、血管が硬化を伴った状態から、年々リスクが高くなる傾向があります。そのため、日々の生活習慣を改善することが重要です。また、予後や自身の健康状態を把握するためにも、LOX-index検査を定期的に実施いただくことをおすすめします。

受診コード: 890MGX07MP

LOX-index[®] 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査報告書

氏名 サンプル タロウ 様 性別 男性 年齢 47歳

検査日 2021/4/1 カルテID 123456789

検査結果

LOX-index[®]
今日の測定結果 **736**

発症のリスクと判定された
低リスク群 に分類されました。

3ヶ月以上経過した時点で、再度検査を受けることをおすすめします。

検査日	検査値	LOX-index [®]
検査日	2021/1/1	728
検査日	2021/1/15	855
検査日	2021/1/31	908

今日のLOX-index検査の結果では、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクは低リスクと判定されました。LOX-indexの値が低く、脳梗塞のリスクが低い傾向にあると判定されます。しかし、脳梗塞や心筋梗塞は、自覚症状がほとんどないまま進行し、発症に至ります。脳梗塞・心筋梗塞は生活習慣の改善が不可欠なことが多く、発症の危険性が高いです。自覚から10年以上前から、血管が硬化を伴った状態から、年々リスクが高くなる傾向があります。そのため、日々の生活習慣を改善することが重要です。また、予後や自身の健康状態を把握するためにも、LOX-index検査を定期的に実施いただくことをおすすめします。

受診コード: 890MGX07MP

個別評価シート

sLOX-1 検査結果 **320** pg/mL

sLOX-1の値が前回と比べて改善し、理想的な値まであと一歩と判定されました。

ただし、安心は禁物です。動脈硬化は、特に目立たず進んで進行しやすくなります。また、血圧や血糖値の増加、ストレスなどにより、sLOX-1は高くなります。食生活の改善やストレスの軽減などにより、継続的な生活習慣改善により、リスクの軽減を目指しましょう。

検査日	検査値	sLOX-1 (pg/mL)
検査日	2021/1/1	320
検査日	2021/4/1	280
検査日	2021/7/1	240

sLOX-1とは

LOX-1は動脈硬化の進行を促進するタンパク質です。また、動脈硬化を抑制するタンパク質であるLOX-2は、LOX-1の値が低いほど、動脈硬化の進行を抑制することが期待されています。LOX-1の値が高くなるほど、動脈硬化の進行が促進される傾向があります。

LAB 検査結果 **2.3** μg/dL

LABの値が前回と比べて改善し、理想的な状態と判定されました。

動脈硬化の進行に伴い、検査値が高くなる傾向があります。ただし、安心は禁物です。動脈硬化は、特に目立たず進んで進行しやすくなります。LABの値が高くなるほど、動脈硬化の進行が促進される傾向があります。そのため、日々の生活習慣を改善することが重要です。また、予後や自身の健康状態を把握するためにも、LAB検査を定期的に実施いただくことをおすすめします。

検査日	検査値	LAB (μg/dL)
検査日	2021/1/1	2.5
検査日	2021/4/1	2.3
検査日	2021/7/1	2.1

LABとは

LABは動脈硬化の進行を促進するタンパク質です。また、動脈硬化を抑制するタンパク質であるLAB-2は、LABの値が低いほど、動脈硬化の進行を抑制することが期待されています。LABの値が高くなるほど、動脈硬化の進行が促進される傾向があります。

LOX-index[®] についてより詳しい情報はこちらから

受診コードを入力し、検査結果を登録

受診コード: 890MGX07MP

個別評価シート

sLOX-1 検査結果 **320** pg/mL

sLOX-1の値が前回と比べて減少してあります。

動脈硬化は、特に目立たず進んで進行しやすくなります。また、血圧や血糖値の増加、ストレスなどにより、sLOX-1は高くなります。食生活の改善やストレスの軽減などにより、継続的な生活習慣改善により、リスクの軽減を目指しましょう。

検査日	検査値	sLOX-1 (pg/mL)
検査日	2021/1/1	320
検査日	2021/4/1	280
検査日	2021/7/1	240

sLOX-1とは

LOX-1は動脈硬化の進行を促進するタンパク質です。また、動脈硬化を抑制するタンパク質であるLOX-2は、LOX-1の値が低いほど、動脈硬化の進行を抑制することが期待されています。LOX-1の値が高くなるほど、動脈硬化の進行が促進される傾向があります。

LAB 検査結果 **2.3** μg/dL

LABの値が前回と比べて減少してあります。

動脈硬化の進行に伴い、検査値が高くなる傾向があります。ただし、安心は禁物です。動脈硬化は、特に目立たず進んで進行しやすくなります。LABの値が高くなるほど、動脈硬化の進行が促進される傾向があります。そのため、日々の生活習慣を改善することが重要です。また、予後や自身の健康状態を把握するためにも、LAB検査を定期的に実施いただくことをおすすめします。

検査日	検査値	LAB (μg/dL)
検査日	2021/1/1	2.5
検査日	2021/4/1	2.3
検査日	2021/7/1	2.1

LABとは

LABは動脈硬化の進行を促進するタンパク質です。また、動脈硬化を抑制するタンパク質であるLAB-2は、LABの値が低いほど、動脈硬化の進行を抑制することが期待されています。LABの値が高くなるほど、動脈硬化の進行が促進される傾向があります。

LOX-index[®] についてより詳しい情報はこちらから

受診コードを入力し、検査結果を登録

受診コード: 890MGX07MP